

坂戸市立片柳小学校 学校だより

やなぎの子

学校教育目標

よく考え 心豊かに たくましく

令和7年度夏休み号（令和7年8月27日発行）

児童数：329名

Tel 283-4735 Fax 289-1015

【校訓】かしこい子 たくましい子 やりぬく子 なかよくする子 気持ちよく働く子

＜2学期のスタート！＞ ◎ よく考え ◎ 心豊かに ◎ たくましく

39 日間の夏休みが終わりました。長い夏休みだったでしょうか？それとも、短い夏休みだったでしょうか？感じ方は人それぞれかとは思いますが、充実した夏休みを過ごしたことと思います。

本日から、2 学期のスタートです。学校には、子供たちの声が戻ってきました。今年は夏休み前から暑い日が続きました。8 月になっても最高気温が 35℃を超える猛暑日が多くありました。ご家庭でのお子様の様子、身体の調子はいかがだったでしょうか。夏休み期間中には、大きな事故等もなく、無事に本日を迎えることができ、ほっとすると共に、ご家庭、地域の皆様に感謝申し上げます。

今年の夏休み、いわゆる課題等を課すこと見直しました。これは、様々な応募等について本人と家族がよく相談したうえで、取り組むかを決めてほしいからです。「学校の宿題だから」ではなく、「やってみたい」「おもしろそう」という自発的な気持ち・自己決定を大事にしたいのです。

誰かにやらされた、いやいややらされたという意識があるうちは、自発的とは言えません。やらされたものはなかなか定着されません。

自己決定を大事にしたいのは、理由があります。「自分で決めた」ということは、「最後まで自分が責任をもってやりきる」ということ。本当に最後までやりきること、小学生には、難しい側面もあります。だからこそ、周りの大人が励まし、途中経過についてもよい感じで進んでいると認めてあげることがとても大事になります。そして、結果もそうですが、何よりも最後までやりきったことを大いに認め、褒めてあげてください。

さて、2学期が始まります。一年の中で一番長い2学期。学校行事・学年行事、学習、学校生活で様々なことに取り組みます。それぞれの取組を通して、子供たちは一回りも二回りも人間として成長します。その際、大きく成長するきっかけの一つが自発的に取り組むこと、つまり、自己決定して取り組むことです。

2学期、片柳小学校の児童一人一人が人間として大きく成長するために、なるべく、自己決定する機会を設け、自発的に取り組めるようにします。また、児童の自発的な取組についてそれを認め、褒めて、伸ばすようにしていきます。

2学期もよろしくお願いいたします。

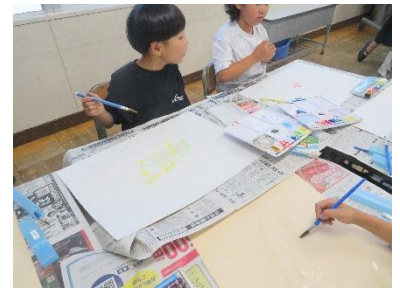
《学習者を育てる》 ◎ よく考え ◎ 心豊かに ◎ たくましく

学校を卒業し、社会に出ると、人は学ぶことから遠ざかってしまうのでしょうか？保護者の皆さんや地域の方々は、もちろん、「そんなことはない。社会人になったって、学び続けていかなければならない。」とお答えになるでしょう。

ほぼ一生続く学び、その中で、小・中学校での義務教育はどのような立場にあるのでしょうか？

読み書き・そろばんと言われる基礎・基本を身に付けること。そして、もう一つ、自ら学び続ける学習者としての資質を身に付けることも義務教育に課された新たな責務であると考えます。

平成29年度、現在実施している学習指導要領が告示されました。その中で、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践が謳われています。「主体的な学び」とは、学ぶことに興味や関心を持ち、見通しをもって粘り強く取り組むこと。「対話的な学び」とは、他者（子供同士、教員、地域の人、教材）との対話を通し、考えを広げ、考えを深めること。「深い学び」とは、知識を関連付けて活用し、問題を発見し解決策を考えること。



それを受けて、坂戸市として、以下の2点を大切にしています。

1 安心して学べる教室環境

- ・座席の工夫（目的・発達段階に応じた「ペア」「コの字」「グループ」等）

これにより、わからないことを安心して聴くことができる環境づくりをしています。

2 子供たちが主体的に取り組む授業

- ・課題の工夫（学びたくなる・学ぶ価値のある課題）
- ・教師の役割（話し過ぎず、子供の発言を活かすなど、学びが深まるようなつなぎ役）
- ・教師も子供も「聴くこと」を大切にする
- ・仲間と協働して課題に取り組む学びの楽しさを実感する

これにより、基礎基本となる知識・理解と思考力・判断力・表現力の育成をしています。

坂戸市では、授業改善に向けて、全国各地で指導に当たっている指導者を招いて、全クラスの授業参観と授業研究会を市内全小・中学校で実施しています。また、学校ごとにも自主的な研修会を実施しています。

授業参観や学校公開日に来校された方は、まず、教室の様子に驚かれた方もいらっしゃると思います。クラスによっては、4人グループですと学習をしていたり、低学年では「コの字」（学級会の隊形に似ています）で学習をしていたりしています。また、何かあると子供たちは隣やグループの仲間と話をしたり、意見を交換しています。これらは、全て、子供たちが安心して、主体的に学ぶ授業づくりを推進しているからです。

社会に出ても、自らの力で、自分に必要なことを学び続ける学習者を育成していきます。